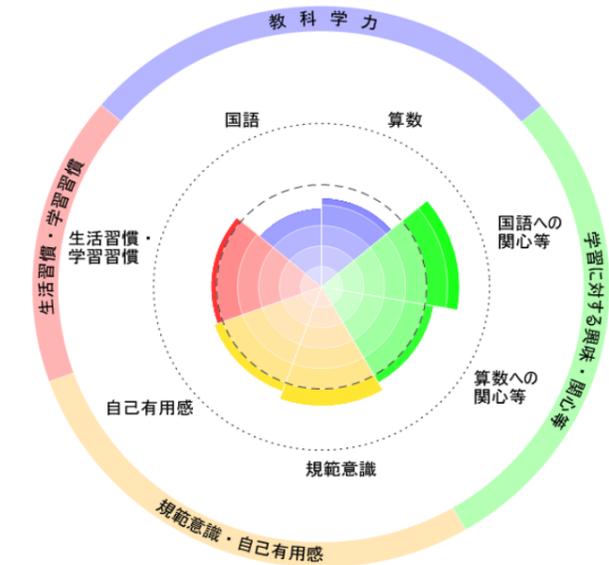


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	○国語に対する関心意欲は高い。 ○大まかな内容を把握する力は、だいたいの児童が持っている。 ●設問の読解に課題がある。 ●書くことを苦手と感じる児童が多い。	・条件付きでの文章表記を、意識して授業に取り入れ経験させる。(条件として文字数の制限や、ことわざ・慣用句などを入れて書くなど) ・キーワードを指導者が提示して各活動のヒントとする。
算数	○基本事項や定義は理解できている。 ○グラフの読み取りは出来ており視覚的にイメージすることはできる。 ●無回答が多くあきらめる傾向がみられる。 ●図形・数量関係が弱い。記述式が弱い。	・日頃から文章からよみとったことを、絵や図で表す習慣をつける。解法の手立てを増やしてやる。 ・考えた足跡を残す。そしてその足跡を評価する。過程を大事にする授業を行い自信を育てる。

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



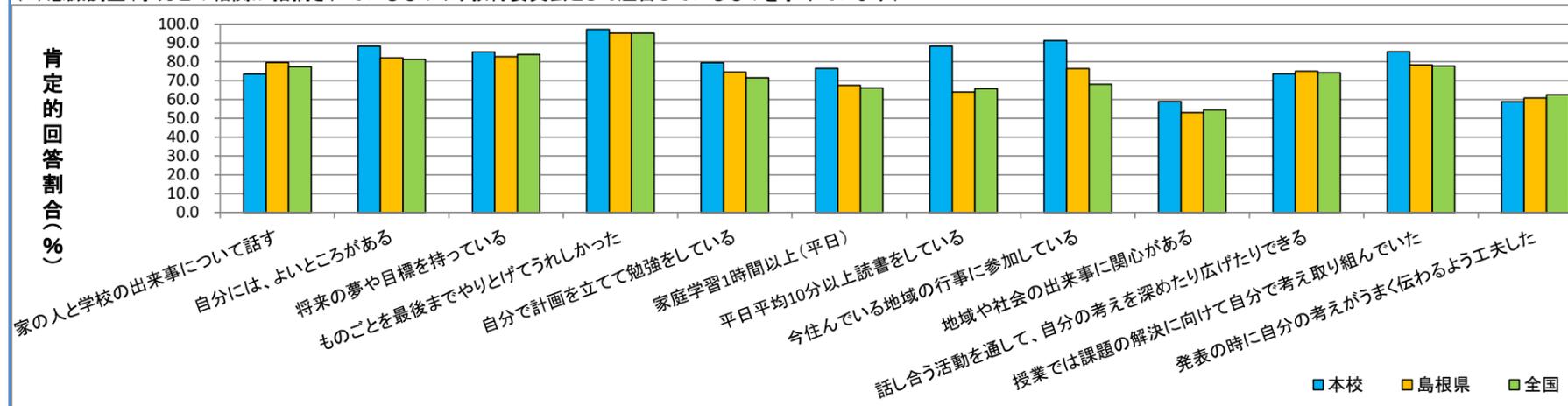
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	○読書週間が身につけている児童が多い。 ○地域の行事に積極的に参加している児童が多い。 ●発表の時に、自分の考えをまとめることが苦手な児童が多いため、相手に伝えることを意識する段階とは言えない。 ●全体的に肯定的な結果となっているが、個人差がある。	・様々な活動で、自分の考えを持つ、考えをまとめる時間や場を確保する、ペアで確認したり、書いたりする、などスモールステップで全体への発言につなげるようにする。 ・児童の困り感をしっかりとらえ、個別の支援を今後も続けていくようにする。

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・児童一人一人の実態と抱える困難さ、原因を考察したうえで支援を考え、だれにとっても分かりやすい、ユニバーサルデザインの授業づくりに取り組む。 ・学習の到達点を明示し、児童が見通しをもって取り組めるようにする。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	53	63	62	63.8
算数	61	66	65	66.6

受検者数 34人
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。